

人、ま ち、地 域 を「動 か す 人」が い る 銀 行 へ

第97期 営業のご報告

2020年4月1日から2021年3月31日まで

ミニディスクロージャー誌

中期経営計画
2021スタート!

2021年4月～2024年3月

目次

ごあいさつ	1
中期経営計画2021のスタートにあたって	2
ちくぎんトピックス	6
お客さまへの大切なお知らせ	9
役員／株式について	10
業績ハイライト	11
財務のご報告（単体）	14

筑邦銀行のプロフィール

設立	昭和27年12月23日
総資産	8,652億円
預金・譲渡性預金	7,809億円
貸出金	5,386億円
資本金	80億円
株主数	2,713名
従業員数	526名
店舗数	44か店 ^(注)

(注) 店舗内店舗形式は9か店
2021年3月31日現在

ごあいさつ

人、まち、地域を「動かす人」がいる銀行へ

皆さまには、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

2020年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、景気が大幅に下押しされた厳しい一年となり、多くの業種に甚大な影響が拡がりました。当行はお取引先の実態をきめ細かく把握することに努め、緊急融資の対応を積極的に行いました。ワクチン接種は始まりましたが、未だコロナ禍の沈静化には時間を要する状況と思われます。これからもお取引先の支援を資金繰りのみならず、事業性評価も含めてしっかりと行って参ります。

さて、筑邦銀行は2021年4月より「中期経営計画2021」をスタートさせました。また、金融機関を取り巻く経営環境の激変に対応し、新たなビジネスモデルを目指すため、新しい経営理念も策定いたしました。中期経営計画2021のスローガンとして「人、まち、地域を『動かす人』がいる銀行へ」を掲げ、「お客さま支援ビジネスの多様化」を基本方針とすることで、お客さまや地域の新たな価値の創造に取組んで参ります。

具体的には、預金貸出業務などの「既存ビジネスの深化」、資産形成支援・事業承継支援・地域商社による地域課題の解決支援、デジタル化支援などの「新たなビジネスへの挑戦」、およびそれを可能にするための人材育成・ブランディングの徹底などの「強靱な経営基盤の構築」の3つを重点取組項目としています。これらの重点取組項目を実現するために、必要に応じ当行と理念を共有する外部の提携先とのアライアンス戦略をさらに推進し、金融の枠や地域の枠を越えた支援ビジネスにも挑戦していく所存です。

コロナ禍により、働き方や生活スタイルも大きく変わり始めました。ポストコロナを見据え企業の就業条件や、個人のライフスタイルも変化しつつあり、テレワークやオンライン会議など一層のデジタル化が加速して参りました。当行もこの経営環境の変化に柔軟に対応して参ります。

筑邦銀行は、これからもお客さまのお取引満足度の向上に努めるとともに、地方銀行そのものが地域の有力な金融サービス産業であるとの認識の下、地域の課題解決と地域経済の活性化に尽力して参ります。これからも、一層のご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2021年6月



当行はSDGs(持続可能な開発目標)への取組みを全役職員で行います。

頭 取 佐藤 清一郎



中期経営計画2021のスタートにあたって

筑邦銀行の経営理念・ブランドメッセージ

当行は2022年12月に創立70周年、2023年2月に開業70周年を迎えます。

これもひとえに、お客さま、地域社会、株主の皆さまの永年に亘るご支援とそれに応えてきた先輩行員の努力の賜物だと感謝申し上げます。こうした70周年という節目を含む2021年4月から2024年3月までの3年間で「中期経営計画2021」としてスタートさせました。

この新しい中期経営計画のスタートに併せて、金融機関を取り巻く経営環境の激変に対応し、当行が目指す新たなビジネスモデルにふさわしい経営理念を策定しました。

新しい経営理念は、次の3つです。

- ▶ 動かす人が活躍する組織
- ▶ ベストパートナーへの挑戦
- ▶ 正しい倫理観がすべての出発点

新しい経営理念は、人を動かし、心を動かし、未来を動かす行員が、お客さま、地域にとって最良のパートナーとなり、正しい倫理的価値に基づいた行動力を発揮する、という私たち役職員の思いを表したものです。

筑邦銀行のブランドメッセージ

動かす人がいる。

筑邦銀行には、動かす人がいる。
人を動かし、心を動かし、未来を動かす。
時代を動かすのはいつも、
「あの人なら信頼できる」、
「あの人に話してみよう」、
「あの人ならやってくれる」、
「あの人に会ってみたい」と思ってもらえる、
そんな「あの人」たちだ。

時には銀行らしく、
時には銀行の枠を超えて。
お客さまが求めることを自ら探し、
正面から受け止める。
そして英知を集め、仲間とともに、
全力で解決する。

未来の社会を元気にするために、
動かす人がいる銀行へ。

1 「中期経営計画2021」のスローガン

人、まち、地域を「動かす人」がいる銀行へ

当行は、新しく制定した経営理念に沿って、「中期経営計画2021」のスローガンを、「人、まち、地域を『動かす人』がいる銀行へ」といたします。

2 計画期間 2021年4月～2024年3月（3ヵ年）

お客さまや地域の変化に適応し、実効性ある計画とするため、計画期間を3ヵ年といたします。

3 中期経営計画で実現したい姿

既存ビジネスを深化させるとともに、お客さま支援ビジネスを追求することで、ビジネスモデルの多様化を通して新たな価値の創造に取り組んでまいります。

4 基本方針と重点取組項目

基本方針 「お客さま支援ビジネスの多様化」

重点取組項目

I

既存ビジネスの深化

渉外人員の増強や渉外活動時間の拡充、コンサルティングを柱とした伴走型支援の追求、ベストパートナーとしての経営課題解決力の提供を通して、既存ビジネスを深化してまいります

重点取組項目

II

新たなビジネスへの挑戦

SBIグループやYamatoさわかみ事業承継機構などとの提携に代表されるアライアンス戦略も活用しながら、お客さま支援ビジネスの追求等を通して新たな価値の創造に取り組んでまいります

重点取組項目

III

強靱な経営基盤の構築

金融経済環境が激変する中、中期経営計画の基本方針を早期に達成するため、安定した収益を生み出す生産性の高い強靱な経営基盤の構築を目指してまいります

5 計数目標

中計最終年度の数値目標 [2024年3月期] (単体)

1	資金運用収益	86億円以上
2	役務取引等収益	23億円以上
3	コア業務純益	19億円以上
4	当期純利益	8億円以上
5	自己資本比率	7.3%以上
6	預金等（期中平残）	7,570億円以上
7	貸出金（期中平残）	5,360億円以上

中期経営計画の数値目標に掲げた役務取引等収益に関連した下記のKPI指標を新たに策定することで、「お客さま支援ビジネスの多様化」を着実に実践してまいります。

- 預かり資産残高
- 事業承継支援の取組み件数
- 企業型確定拠出年金 (DC) の導入件数
- 電子プレミアム商品券等の採用団体数
- SBI等アライアンス戦略による収益貢献額

数値目標用語の説明

資金運用収益 ▶ 貸出金利息や有価証券の利息配当金などの資金運用から得られる収益です。

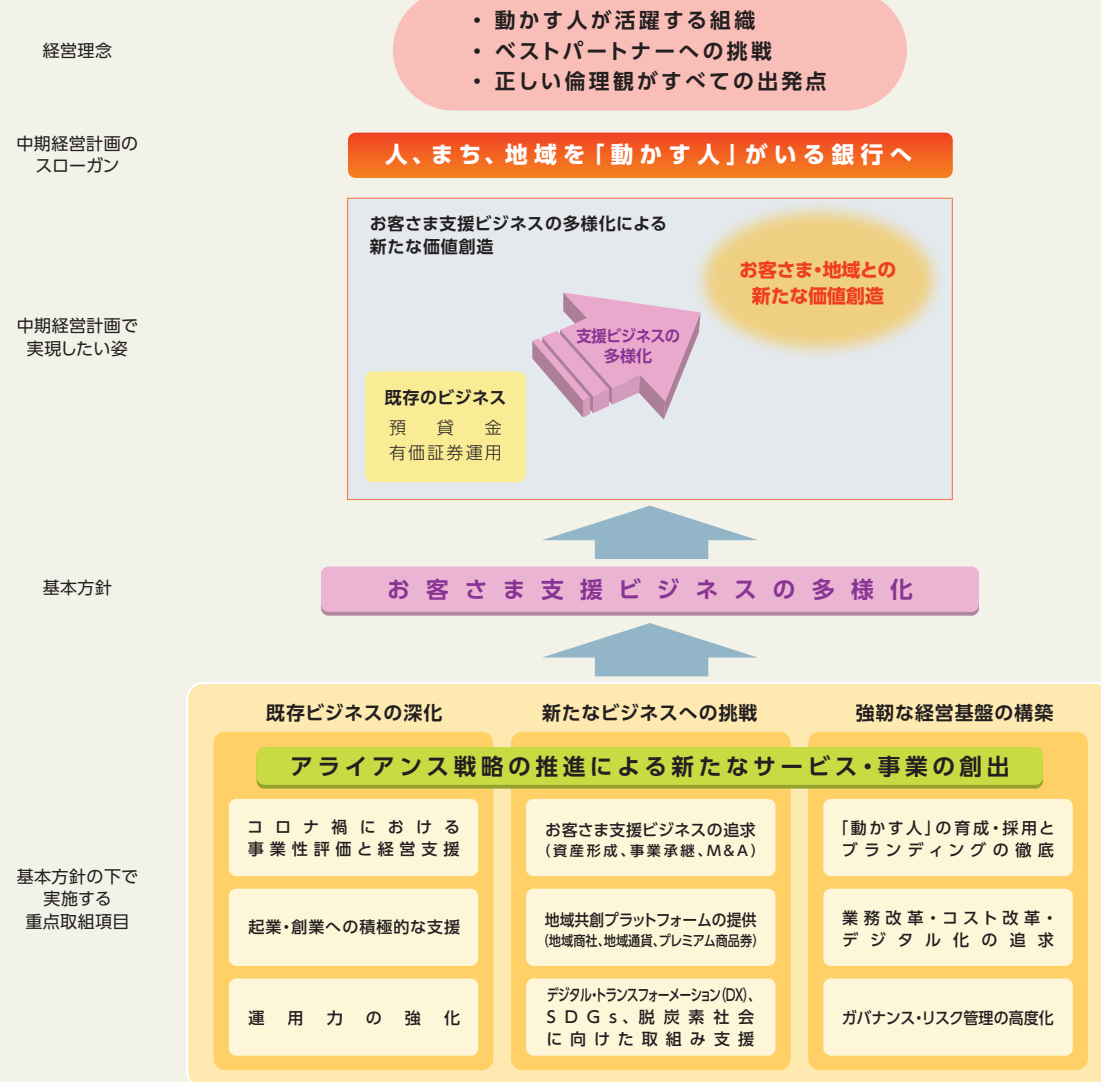
役務取引等収益 ▶ 内国・外国為替手数料、投資信託等の運用商品の手数料などサービス提供の対価として得られる手数料収益です。

コア業務純益 ▶ 預金・貸出金等から生まれる利益である業務純益から、一般貸倒引当金繰入額と国債関係損益を控除したもので、銀行の中核的な利益です。

当期純利益 ▶ 全ての収益から法人税等を含む全ての費用を控除した税引き後利益であり、最終利益とも言われます。

自己資本比率（国内基準） ▶ 総資産に対する自己資本（純資産）の割合により、企業の健全性を示す重要な指標の一つで、金融機関の場合、銀行法等に定めるリスクアセット方式により算出した比率が一般的です。当行は国内基準を採用し、現時点では4%以上が必要です。

中期経営計画2021の全体像



筑後の魅力を全国へ!

株式会社マキコミと ECサイトを開設

2021年2月

2020年11月、「ちくぎん地域活性化投資事業有限責任組合(出資：当行)」が運営する「ちくぎん地域活性化ファンド」は、株式会社マキコミに投資を行いました。

株式会社マキコミは地産品の企画・開発・販売に取組んでいる企業です。

2021年2月には筑後産の特産品が買えるECサイト「筑邦銀行×筑后感動本舗」を開設し、同年3月にはリアル店舗を博多マルイ2階イベントスペースに出店いたしました。



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

家計の支出をスマートに管理したい

「ちくぎんアプリ」に 「個人資産管理」の機能を追加しました!

2021年2月



マネーツリー株式会社が提供する金融データプラットフォーム「Moneytree LINK」と連携し、「ちくぎんアプリ」において資産を一元的に管理できる「ちくぎんスマート通帳」サービスの提供を開始いたしました。

「ちくぎんスマート通帳」は、筑邦銀行口座の預金取引履歴が永年にわたって記録・閲覧できる他、他行の銀行口座、証券口座、クレジットカード、ポイント・マイル、電子マネーなどの金融資産や取引明細をアプリ内で一元管理し、支出をグラフなどにより可視化することでより着実な家計管理を実現するサービスです。



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

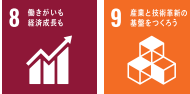
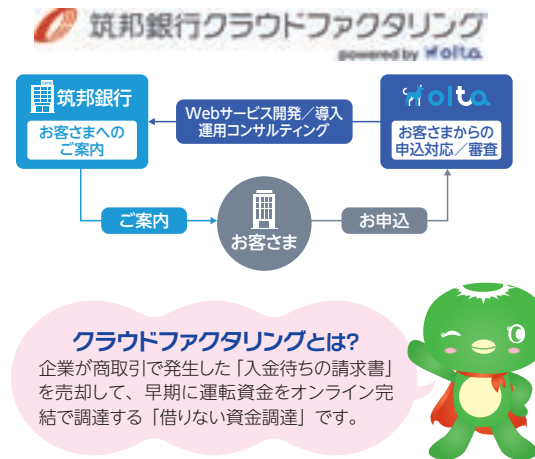
資金調達の新しい選択肢

九州地区の金融機関で初! 「筑邦銀行クラウドファクタリング powered by OLTA」 サービス提供の開始

2021年3月

フィンテック企業のOLTA株式会社との共同事業として「筑邦銀行クラウドファクタリング powered by OLTA」の取扱いを開始いたしました。

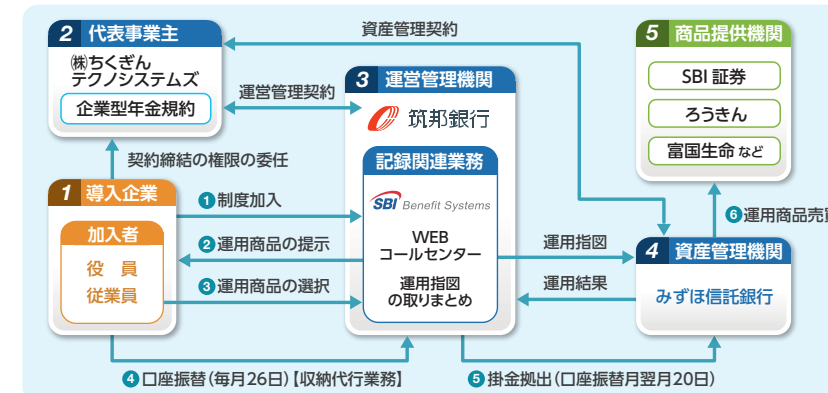
本サービスは、AI審査を活用し、お客さまのお申込から最短24時間以内に審査結果を回答するオンライン完結型の売掛債権現金化サービスです。



加入者1名から導入が可能!

企業型確定拠出年金「ちくぎんDCプラン」の設立

2021年6月



当行はSBIベネフィット・システムズ株式会社と企業型確定拠出年金プランにおいて協業し、それぞれ運営管理機関、記録関連運営管理機関としてサービスの提供を開始いたしました。これによりこれまで導入が容易ではなかった少人数の中小企業に、企業型確定拠出年金（企業型DC）の導入が可能になりました。



地域情報プラットフォームを活用して 地域活性化に取り組む新会社



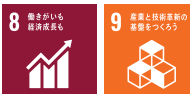
設立記者会見

「株式会社まちのわ」の設立

2021年5月

当行、SBIホールディングス株式会社、九州電力株式会社の3社は「株式会社まちのわ」を共同で設立しました。

「株式会社まちのわ」は、地域のデジタル化を推進する地域情報プラットフォームを活用し、プレミアム付電子商品券・地域通貨等を発行・運用するサービスをはじめとした地方創生および地域経済の活性化を推進する事業を展開してまいります。



働きやすい環境を



2段階目

3～4の基準を満たす
→ 2段階目

女性活躍推進企業認定 「えるぼし（2段階目）」に認定されました

2020年12月

「えるぼし」とは、「女性活躍推進法」に基づき、「一般事業主行動計画」の策定・届出を行った事業主のうち、女性の活躍推進に関する取組の実施状況が優良である等の一定の要件を満たした企業が認定されます。

認定の段階は、「女性の職業生活における活躍の状況に関する実績に係る基準」を満たした数に応じて3段階あります。

当行は2段階目に認定されました。



お客さまへの大切なお知らせ

店舗の新築移転について

柳川支店を移転オープン 2021年6月

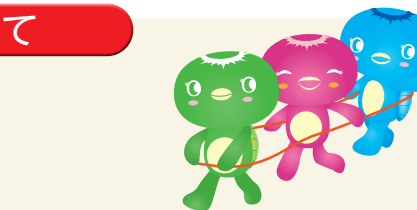
柳川支店を2021年6月7日（月）に移転オープンいたしました。
新店舗は、全自動貸金庫の設置、多目的トイレやスロープ等のバリアフリー設備など、機能面を充実させております。また、テレワーク、商品展示、セミナー開催など地域の様々なビジネスシーンにご利用いただけるフリースペースを設けております。

新住所 ▶ 〒832-0826 福岡県柳川市三橋町高畑197番地

電話番号 ▶ 0944-72-2131 ※移転後も変更ありません

営業日および営業時間

窓口	平日 9:00 ~ 15:00
ATMコーナー	平日 8:45 ~ 21:00 土日祝日 9:00 ~ 19:00
全自動貸金庫	平日 9:00 ~ 17:00
フリースペース	平日 9:00 ~ 17:00



移転オープンした柳川支店

長門石支店を移転オープン 2021年7月

長門石支店を2021年7月5日（月）に移転オープンいたします。
新店舗は、お客さまの大切な財産を安全にお守りする全自動貸金庫等の機能面を充実させております。

新住所 ▶ 〒849-0111 佐賀県三養基郡みやき町大字白壁1074番地4

電話番号 ▶ 0942-50-5412 ※隣県移転のため変更となっております

営業日および営業時間

窓口	平日 9:00 ~ 15:00
ATMコーナー	平日 8:00 ~ 21:00 土日祝日 9:00 ~ 19:00
全自動貸金庫	平日 9:00 ~ 17:00



長門石支店完成予想図



従来の長門石支店は、店舗外ATMコーナー「中央町支店久留米西出張所」として引き続きご利用いただけます。

役員／株式について

役員氏名

(2021年6月25日現在)

取締役頭取 (代表取締役)	佐藤 清一郎	上席執行役員	橋本 賢治
取締役専務執行役員 (代表取締役)	中野 慎介	上席執行役員	野口 光
取締役常務執行役員	執行 謙二	執行役員	西田 吉孝
取締役常務執行役員	鶴久 博幸	執行役員	江崎 健
取締役常務執行役員	金子 末見	執行役員	田中 省吾
取締役常務執行役員	藤崎 勇一郎	執行役員	香山 恭秀
取締役	麻生 渡	※取締役 麻生渡、取締役 監査等委員 立花洋介、橋田紘一、永田見生は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。	
取締役 監査等委員	龍 憲一		
取締役 監査等委員	池部 晋		
取締役 監査等委員	立花 洋介		
取締役 監査等委員	橋田 紘一		
取締役 監査等委員	永田 見生		

株式のご案内

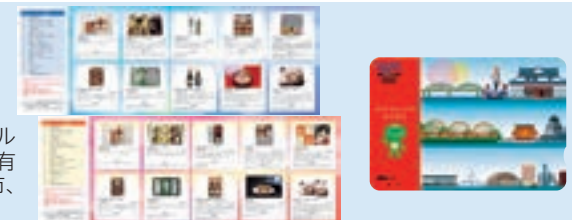
1.事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで	6.同連絡先	日本証券代行株式会社 代理人部 TEL 0120-707-843 (フリーダイヤル) 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部
2.期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日	(郵送先)	
3.中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日	7.上場証券取引所	証券会員制法人 福岡証券取引所
4.定時株主総会	毎決算日後3か月以内に開催	8.公告方法	電子公告 ただし、電子公告をすることができない場合は福岡市で発行する西日本新聞に掲載
5.株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	日本証券代行株式会社		

(ご案内)

- 配当金のお受取りは、当行本支店の預金口座振込をご指定いただきますと、早くて便利です。
- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金受取の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（日本証券代行）ではお取扱いきませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行為口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（日本証券代行）にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、日本証券代行本支店でお支払いいたしますのでお申し出ください。

株主優待制度のご案内

「株主優待制度」は、株主の皆さまからの日頃のご支援・ご愛顧にお応えするとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの方々に長期間保有していただくことを目的として実施しております。
所有株式数100株（1単元）以上保有する株主さまに対し、当行オリジナルQUOカード500円を贈呈し、さらに保有期間12ヶ月以上の株主さまには保有株式数に応じて、当行オリジナル株主優待カタログから地元（福岡県、鳥栖市、日田市など）の特産品等をお選びいただけます。

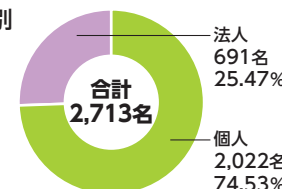


株式の状況

(2021年3月31日現在)

発行済株式の総数 6,249,020株
株主数 2,713名

▶ 株式の所有者別分布状況



▶ 株主の地域別分布状況

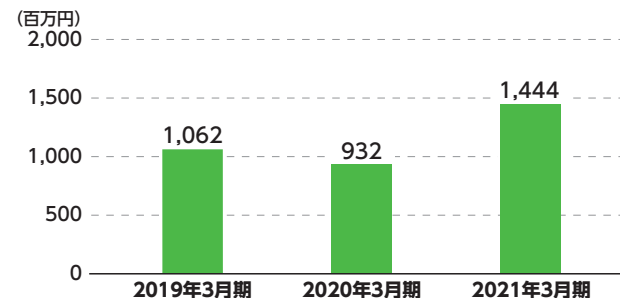


業績ハイライト

経常利益

経常利益は、営業経費や不良債権処理費用が減少したことに加えて、株式等償却が減少したことなどから、前期比5億11百万円増益の14億44百万円となりました。

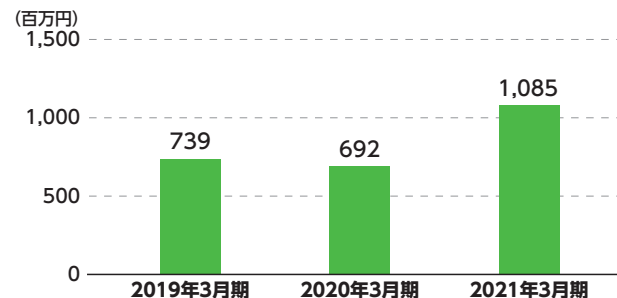
経常利益(単体)



当期純利益

当期純利益は、経常利益が増益となったことなどから、前期比3億92百万円増益の10億85百万円となりました。

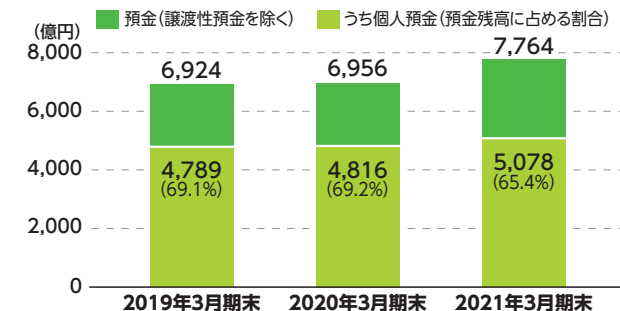
当期純利益(単体)



預金

預金は、新型コロナウイルス感染症の影響により貸出金が増加し、予防的な需要の資金が滞留するなど法人預金が増加したことに加えて個人預金も増加したことから、前期末比807億円増加の7,764億円となりました。

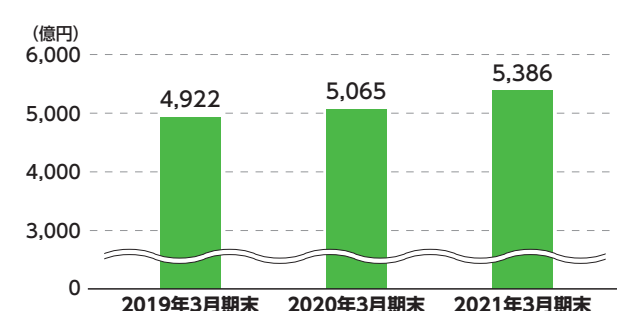
預金残高の推移(単体)



貸出金

貸出金は、新型コロナウイルス禍のなか、地元の中小・中堅企業や個人事業主のお客さまに対し、積極的に資金繰り支援を続けた結果、中小企業向けの貸出金が増加したことから、前期末比320億円増加の5,386億円となりました。

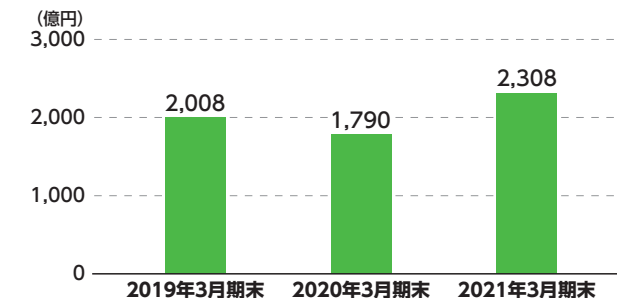
貸出金残高の推移(単体)



有価証券

有価証券は、預金による資金調達が好調に推移したことから、地方債などの債券を中心に投資を行い、前期末比517億円増加の2,308億円となりました。

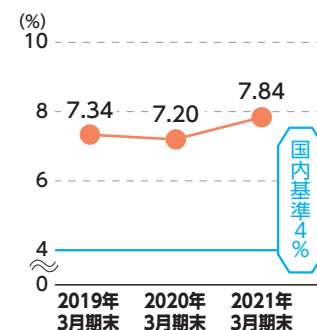
有価証券残高の推移(単体)



自己資本比率

7.84% 国内基準(4%以上)を大きく上回っています。

自己資本比率(単体)



2021年3月期末の自己資本比率は、前期末比0.64ポイント上昇の7.84%となり、最低所要自己資本比率(国内基準)の4%を十分に上回る水準を維持しています。また、資本金や利益剰余金などの普通株式に係る株主資本の額が自己資本の額の

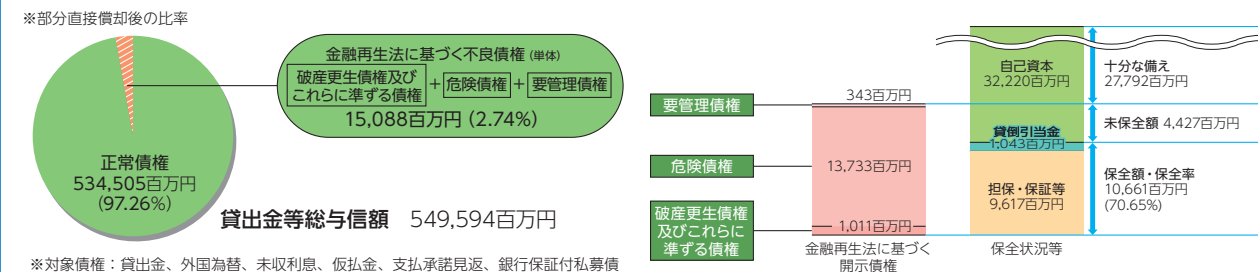
ほとんどを占めており、質の高さを維持しています。

不良債権比率 2.74%※

金融再生法に基づく貸出金等の総与信額5,495億94百万円のうち回収に懸念のない正常債権は5,345億5百万円で総与信額の97.26%を占めております。

一方、不良債権は150億88百万円(総与信の2.74%)となり、前年同期末の138億23百万円(総与信の2.67%)と比べて12億65百万円増加しました。

また、この不良債権の70.65%(106億61百万円)は、担保・保証等や引当金で保全されています。

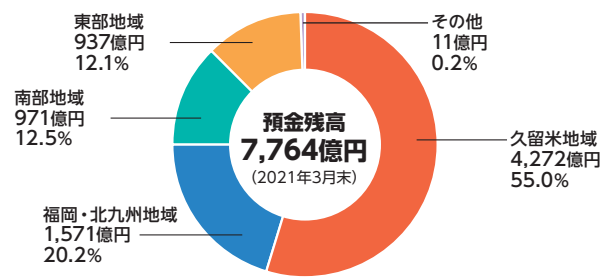


業績ハイライト

皆さまとお取引状況<預金・預り資産>

地域別預金残高、構成比率

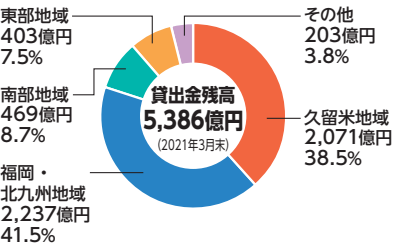
当行は、地域に根差した金融機関として、設立以来地域の皆さまからのご信頼をいただき、預金は順調に増加しております。今後もお客さまのニーズに対応した魅力ある金融商品の提供に努めてまいります。



皆さまとお取引状況<融資>

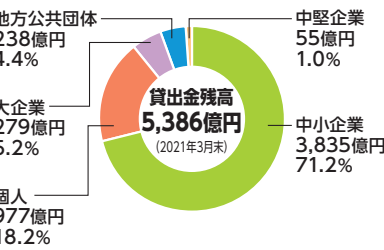
地域別貸出金残高、構成比率

当行が地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行設立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。



中小企業等貸出金残高、構成比率

当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心に貸出を行っております。今後もお客さまのニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイムリーに提供してまいります。

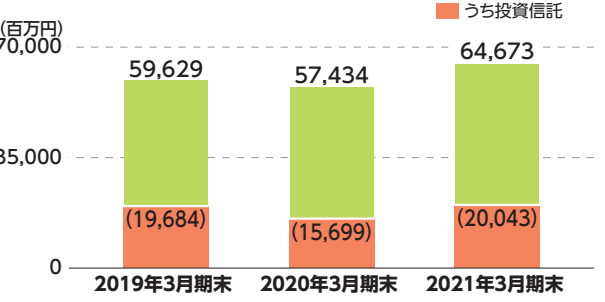


個人預り資産残高

当行は、お客さまの多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債等を取扱っております。個人預り資産は、前期末比72億38百万円増加して646億73百万円となりました。

※個人預り資産＝投資信託、生命保険、外貨預金、公共債の合計

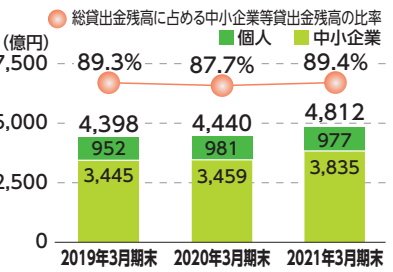
個人預り資産残高の推移



中小企業等貸出金残高、比率の推移

中小企業および個人の方に対する貸出金の残高は、前期末比371億円増加し、4,812億円となりました。総貸出金に占める中小企業等貸出金残高の割合は、89.4%（中小企業71.2%、個人18.2%）と引き続き高い割合を維持しております。

中小企業等貸出金残高、比率の推移



財務のご報告（単体）

第97期末 貸借対照表 (単位：百万円)

(2021年3月31日現在)	
科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	72,970
買入金銭債権	434
有価証券	230,801
貸出金	538,629
外国為替	1,309
その他資産	4,363
有形固定資産	8,410
無形固定資産	163
前払年金費用	661
支払承諾見返	9,461
貸倒引当金	△1,972
資産の部合計	865,232
(負債の部)	
預金	776,439
譲渡性預金	4,549
借入金	32,000
外国為替	0
その他負債	2,398
役員株式給付引当金	178
偶発損失引当金	144
繰延税金負債	1,049
再評価に係る繰延税金負債	971
支払承諾	9,461
負債の部合計	827,194
(純資産の部)	
資本金	8,000
資本剰余金	5,759
利益剰余金	18,236
自己株式	△357
株主資本合計	31,637
その他有価証券評価差額金	4,624
土地再評価差額金	1,775
評価・換算差額等合計	6,400
純資産の部合計	38,038
負債及び純資産の部合計	865,232

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第97期 株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

	株 主 資 本								評価・換算差額等			新 約 権	純 資 産 計	
	資 本 金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土 地 再 評価 差 額 金			評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計
		資 準 備 金	本 剰 余 金 計	利 益 剰 余 金 計	利 益 剰 余 金 計	利 益 剰 余 金 計	利 益 剰 余 金 計							
当期首残高	8,000	5,759	5,759	2,724	7,400	7,399	17,524	△290	30,993	△4,578	1,775	△2,802	173	28,363
当期変動額														
剰余金の配当						△309	△309		△309					△309
当期純利益						1,085	1,085		1,085					1,085
自己株式の取得								△348	△348					△348
自己株式の処分						△64	△64	281	217					217
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）										9,203	－	9,203	△173	9,030
当期変動額合計	－	－	－	－	－	711	711	△67	644	9,203	－	9,203	△173	9,674
当期末残高	8,000	5,759	5,759	2,724	7,400	8,111	18,236	△357	31,637	4,624	1,775	6,400	－	38,038

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



筑邦銀行企画本部企画グループ広報チーム
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1
TEL (0942) 32-5331 (代)
<https://www.chikugin.co.jp/>

株式会社 筑邦銀行 登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第5号
加入協会 日本証券業協会

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

